

# 平成29年度 第2回 和泉総合高校 学校協議会 議事録

日 時 平成29年11月10日(金) 10:00~12:00

場 所 本校 応接室・体育館など

出席者 委員(敬称略)

葛城 雅之 一井 正次 川端 幹子 下荒神 亜矢子

学校・事務局

校長 事務部長 教頭(2名)

## 1. 開会の挨拶(校長)

## 2. 学校状況報告(校長)

### ①生徒状況

9月は祭りの時期であり、遅刻・欠席が増える。欠席者数が昨年度に比べ大幅に減少しており良い兆しである。遅刻については微増しており今後の課題である。

今年の文化祭は準備段階から非常に活気を感じており、学校に来ることが学校を良くする一つのバロメーターと思う。生徒の『頑張り』を次につなげるためには、単に行事を楽しむのではなく、『学校に来て』行事を楽しむことが大切であり、それが本来の高校の姿だと思う。

欠席数の減少や挨拶をする生徒の増加など学校が変わり始めている。来年度のエンパワメントスクール改編に伴い、さらに良い学校にしていきたい。

### ②進路状況

例年よりも進路決定率も上がっているように思う。好景気の状況や工業高校の歴史もあり、求人数が多いと思う。多くの中小企業経営者によると、生徒が『挨拶ができる』・『漢字が書ける』・『計算ができる』・『休まない』などの基本的なことができているならば、技術は会社で教えると言っている。本校はエンパワメントスクールとなり今後は工業の科目は少なくなるが、基本をしっかり指導することでさらに進路状況を良くしていきたい。

### ③授業アンケート

おおむね満足できる結果である。前向きに授業に取り組む人数がさらに増えるとなお良いと思う。興味関心や知識技能が身についたと感じた数が若干低いので、楽しいはっとする授業が今後できるかがポイントだと思う。例えば、海外の生徒との交流体験を行うことで興味関心を育てるなど、委員から今後意見をいただきたいと思う。

### ④質疑応答

- 来年度1年生と2・3年生のカリキュラムは違うが、指導はどうするのか? (委員)

例えば、全生徒に対し遅刻せずに来ることの意識付けは必要。2・3年生は移行期なので弾力的に指導していこうと考えているが、委員から遅刻に関し要望があれば検討していきたい。(事務局)

- 離職率は調べることはできないのか? (委員)

調査して、結果が出たところです。(事務局)

<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが英語の外国人講師との会話の中で、発音の綺麗さに気付き、勉強の必要性を感じたようだ。学校も保護者も興味関心をどうやって子どもに持たせるかだと思う。そうならば学校に来る楽しさが芽生えると思う。 (委員)</li> </ul>
<p>貴重なご意見、ありがとうございます。体験的な魅力ある行事や地域が参加することなどが今の学校には大事と思う。今後ご意見をよろしくお願いします。 (事務局)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動的な生徒はコミュニケーションをとり前向きに取り組むことができる。そうでない生徒にどう意欲を持たせるかが今後の課題だと思う。 (委員)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>エンパワメントスクールになるので、生活や学習面での基本的な部分を大切にすることを明確に打ち出しており、これらは社会で生きていくために必要と思う。 校区で協議会や懇談会を作り、相手に意見を伝え、また相手の意見をしっかり受け止めて考える力を育てる活動をしているが、つながりが分断され孤立化していく社会で、子どもを育てるのが難しくなっている。また、地元とのつながりの一環として、顔の見える活動として学校の一部を地域に開放し、地元の方が自由に学校に入ってきている。 (委員)</li> </ul>
<p>地域の方に学校に来てもらうことで、生徒にはふれあいの機会ができる。 (事務局)</p>
<p>3. 文化祭舞台発表見学</p>
<p>4. 文化祭模擬店展示部門見学</p>
<p>5. 閉会の挨拶 (校長)</p>